



平成18年1月編集・発行
平成21年1月改訂
平成24年9月改訂
令和8年3月改訂
仙台市こども若者局
幼稚園・保育部 運営支援課



保育者からの
メッセージ



おむつをはずそうと焦らず、こども
のペースに合わせて、ゆったりし
た気持ちで取り組みましょう。

おむつの時期に大切にしたいこと

「きれいになって気持ちいいね」

おむつを替えると清潔で、
気持ちよいという感覚を
言葉で伝えてみましょう。

「出たね」「濡れたんだね」

おしっこやうんちが出た感覚に
気づけるように言葉で伝えて
みましょう。

時間を決めて

いつも同じタイミングで、おむつ交換を
していくと、おしっこの間隔が把握しや
すくなります。

トイレに親しみがもてるように

好きなキャラクターを壁に貼ったり、
関連する絵本と一緒に
楽しんだり、
遊び感覚を取り
入れてもいいですね。



場所を決めて

いつも同じ場所でおむつ交換を
すると「ここでおむつを替えるんだ」
と気持ちの準備がしやすくなりま
す。『いつもと同じ』がこどもには
大きな安心材料になりますよ。

* はじめるタイミングの目安 *

- おしっこの間隔が 1.5~2 時間程度あく。
- トイレや布パンツに興味を持ち始める。
- 大人のすることに興味を持ち始める。



* 上記のような様子が見られたら
トイレに誘ってみましょう！
詳しくは、『おむつはずれ(2)』をご覧ください。



 おむつはずれは、「トレーニング」ではなく、
トイレでおしっこができるように、『お手伝い』
『サポートする』ことです。
“いつかははずれる”というおおらかな気持ちで。

 大人が、『ゆとりをもてるタイミング』で
始めましょう。
洗濯物が増えるので、着替えのパンツや
ズボンを多めに準備しておくといいですね。

 『焦らず・比べず』という気持ちで、
こどものペースに合わせてお付き合い
できるといいですね。

